

チェック方法	
良い例	悪い例
<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>

【A アンケートにお答えいただきご家族の基本的なことについて伺います】

問1 お答えいただく方（あなた）の性別について、該当するところに✓をつけてください。

- 男性 女性 わからない・答えたくない

問2 お答えいただく方（あなた）の現在の年齢について、該当するところに✓をつけてください。

- 10代 20代 30代 40代 50代 60代
 70代 80歳以上

【B ご本人（障害のある方）の基本的なことについて伺います】

問3 あなたからみて、ご本人はどの続柄にあたりますか。

- 子ども 兄弟姉妹 その他（ ）

問4 ご本人の性別について、該当するところに✓をつけてください。

- 男性 女性 わからない・答えたくない

問5 ご本人の現在の年齢について、該当するところに✓をつけてください。

- 10代 20代 30代 40代 50代 60代
 70代 80歳以上

問6 現在、ご本人と同居していますか。

- 同居している 同居していない

問7 ご本人の同居家族について、当てはまるものすべてに✓をつけてください。

<ご本人からみた続柄でお答えください>

- 母親 父親 兄弟姉妹 祖母 祖父
 配偶者 子ども その他（ ）
 同居家族はない（一人暮らし、または「見守り・支援付き」の一人暮らし）

問8 現在、ご本人は主にどこで生活していますか。

- 自宅 入所施設 グループホーム 病院（3か月以上入院中である）

問9 ご本人の住まいについておたずねします。

（1）住まいの形態について、該当するところに✓をつけてください。

- 戸建て住宅 集合住宅（アパート・マンション）

（2）ご本人には「個室」がありますか。

- ある ない

↓

（副問） ないと答えた方におたずねします。

お住まいの中に、ご本人が専用で使える区切られた場所がありますか。

- ある ない

【C ご本人の余暇について伺います】

問10 ご本人は、主にどのようなことをして過ごしていますか。3つまで選んで✓をつけてください。

- テレビやDVD、インターネットの動画を見る 音楽を聴く 読書、本を眺める
 歌をうたう、楽器を演奏する 絵を描く
 工作・ものづくり（造形・模型など）をする ゲームをする
 趣味のものを並べたり、動かしたり、眺めたりする 運動をする
 散歩や外出をする 買い物をする ドライブをする
 空想にふける、考え事をする 横になる、寝る
 その他（ ）

問11 ご本人は、日ごろご家族以外の人と外出することがありますか。

- ある ない

↓

（副問1） あると答えた方におたずねします。

おもに誰と外出しますか。当てはまるものをひとつ選んで✓をつけてください。

- 友人・知人 ボランティア 同じ障害のある人やその家族
 福祉サービスなどの支援者（ヘルパー、施設職員など）

（副問2） 1ヶ月に何日程度、外出されていますか。 （ 日程度）

問12 ご本人は、日ごろご家族以外の人と外泊※することがありますか。

※ 施設の一時的利用(ショートステイ)を含む

ある ない

↓

(副問1) あると答えた方におたずねします。

おもに誰と外泊しますか。当てはまるものをひとつ選んで✓をつけてください。

友人・知人 ボランティア 同じ障害のある人やその家族
 福祉サービスなどの支援者(ヘルパー、施設職員など)

(副問2) 1ヶ月に何日程度、外泊されていますか。() 日程度)

【D ご本人の日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その① 特性の理解)】

問13 ご本人の「感じ方(感覚)」や「まわりのことへの理解の仕方」「自分の気持ちの表し方」「相手の気持ちの理解の仕方」「行動パターン」など(これらのことについて、このアンケートでは「障害特性」と記載します)にどのような特徴があるか、専門職の人(医師、発達障害に関する専門機関の職員等)などに調べてもらったことがありますか。

ある ない

↓

(副問) あると答えた方におたずねします。

調べた結果は、どのように役立てましたか。当てはまるものすべてに✓をつけてください。

- 結果について説明を受け、自分の特性を理解することに役立った。
- 福祉、教育、雇用(労働)などの支援者に結果を伝え、日々の支援に反映してもらった。
- 家族や身近な人に結果を伝え、日ごろの関係づくりに役立てた。
- 結果について説明を受けたが、難しくて内容がよくわからなかった。
- 調べてもらったことは覚えているが、結果の説明は受けていない。
- よくわからない
- その他 ()

【D ご本人の日常生活を支える「基本の手立て」について伺います（その② 日常生活について）】

問 14 ご本人が日常生活を送る上で、障害特性があるために起きる行動で困っていることは何ですか。

当てはまるものすべてに✓をつけてください。

- 大声や奇声をあげる、泣き叫ぶ
- 自分の顔を叩く、手足に噛みつく、壁に頭を打ち付けるなどの自傷行為
- 物を投げる、壁を蹴る、家具を倒す、ガラスを割るなどの破壊行動
- 周りの人や家族を叩く、噛みつく、物を投げつける、暴言を言うなどの他害行為
- 激しく動き回り、じっとできなくなる（多動）
- 問いかけに反応せず、体も動かなくなるなど行動の停止や同じ動作の反復
- 昼夜が逆転して眠らない
- 食べられないものを口に入れたりするなどの食に関する行動
- 便をこねたり、投げたりするなどの排尿排便行動
- その他（ ）

問 15 ご本人の日常生活を支えるために、特に配慮が必要な障害特性に対して、現在、何らかの「手立て」を行っていますか。

- はい
- いいえ

↓

(副問) はいと答えた方におたずねします。

副問-1 具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものすべてに✓をつけてください。

- 本人がこれから起きることの見通しが持てるよう、スケジュールやカレンダーで一日の予定や週間、月間、年間などの予定を示している。
- スケジュールに変更が生じるときには、事前に本人に伝えている。
- 本人に関することを決めるときに、周りの人だけで決めるのではなく、本人が理解できる方法で本人に伝え、選択肢を示して選ばせるなど意思確認している。
- 本人が自分の考えを相手に伝えることができるよう、コミュニケーションカードや具体物、筆談、通信機器、または身振り手振りをを用いている。
- 周りの人が本人に対し、必要なことを伝えることができるよう、コミュニケーションカードや具体物、筆談、通信機器、または身振り手振りをを用いている。
- 本人が身の回りのことを行いやすいよう、着替え、食事、余暇、休息などの場所を区切り、何をするとどこか見てわかりやすくしている。

- 本人が入浴、着替え、排せつなどの日常生活動作を自立して行えるよう、手順表を作って示したり、使うものを順番に並べるなどしている。
- 物音や光、触覚など、本人が苦手な刺激を避けるため、部屋の窓や壁を補強したり、洋服のタグを外したり、イヤーマフや特別なメガネなど刺激を防ぐ機器を用いるなどの工夫をしている。
- 本人が目標を持って活動に取り組めるよう、トークンシステム（決められた目標を達成するとポイントをもらい、ポイントを貯めて欲しいものを手に入れる）を取り入れている。
- 本人が疲れたり調子が悪くなった時などに、ひとりで過ごすことが出来る場所（カームダウンエリア）を用意している。
- 身の回りの世話、衣類や日用品の選択、余暇の内容など日常生活の全般にわたり、本人の性別や実年齢にあわせた対応や配慮をしている。
- 医者から処方された薬を飲み、辛い症状を和らげるようにしている。
- その他（)

副問-2 日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

- はい いいえ

↓

(副問) はいと答えた方におたずねします。

主にどのようなツールを使っていますか。ご本人と一緒に使うもの、またはご本人が自分で使うものについて、当てはまるものをすべて選んで✓をつけてください。

- コミュニケーションカード（イラスト・写真・文字の使用を含む）
- 筆談（イラスト・写真・文字の使用を含む）のための用紙
- スケジュールボード、カレンダー、スケジュール手帳
- スマートフォンやタブレット端末
- パソコン
- VOCA（音声を出力するコミュニケーション機器）
- タイムタイマー（時間の経過を視覚的に伝える機器）
- イヤーマフ
- サングラス
- その他（)

副問-3 日常生活上の「手立て」を講じるうえで、難しいと感じることがありますか。

はい いいえ

↓

(副問) はいと答えた方におたずねします。

どのようなことに難しさを感じますか。当てはまるものを3つまで選んで✓をつけてください。

- 正しいやり方がわからない
- やり方の相談に応じたり、指導してくれる人がいない
- 毎日のことなのでついおっくうになる
- 道具やコミュニケーションカードなどを準備する時間がない
- 本人の行動に変化がなく、効果があるかどうかわからない
- 他の人と違った対応を行うことに抵抗がある
- 言葉で話せばわかるのではないかと思い、気が進まない
- 本人が嫌がるため、取り入れることができない
- その他 ()

【D ご本人の日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その③ 支援体制について)】

問 16 日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、医療・福祉・教育・雇用(労働)などの身近な支援者と一緒に取り組んだことがありますか。

ある ない

↓

(副問) ないと答えた方におたずねします。

今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んで✓をつけてください。

- 今後、身近な支援者と一緒に取り組むを行う予定である
- 特に予定はない
- 取り組みたいが、実際にどうすればよいか分からない

問 17 あなたは専門機関（病院、発達障害者支援センターつばさ、障害者基幹相談支援センター、子ども総合センター等）から、ご本人の支援に関する助言や指導を受けていますか。

受けている 受けていない

↓

（副問） 受けていないと答えた方におたずねします。

今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んで✓をつけてください。

- 今後、専門機関の助言や指導を受ける予定である。
 特に予定はない
 取り組みたいが、実際にどうすればよいか分からない

問 18 ご本人の支援について、困ったときに頼れる相談相手はいますか。

いる いない

↓

（副問） いると答えた方におたずねします。

おもな相談相手は誰ですか。該当するものすべてに✓をつけてください。

- 医師 看護師 病院のソーシャルワーカー
 病院の心理職 発達障害に関する専門機関の職員
 相談支援専門員 福祉サービスの支援者
 学校の教員 家族会の会員や、同じ立場の保護者 家族
 その他（ ）

問 19 日頃利用されている障害福祉サービス事業所では、個別の支援計画は作成されていますか。

作成されている 作成されていない

↓

（副問） 作成されていると答えた方におたずねします。

① 作成された計画について、定期的に取り組みの結果を振り返り、その成果や課題を踏まえて内容の見直しがなされていますか。

はい いいえ

② あなたは、ご本人の支援計画の作成やその見直し作業に参加して、意見や要望を直接伝えてありますか。

はい いいえ

問 20 ご本人の支援にあたり、専門的な手法を一部でも取り入れていますか。

- はい いいえ わからない

↓

(副問) はいと答えた方におたずねします。

どのような手法を取り入れていますか。該当するものすべてに✓をつけてください。

- TEACCH® (時間や空間、手順を区切り、理解しやすく整える「構造化」)
 応用行動分析学 (ABA) (ある行動の背景を観察し、環境や関わり方を工夫して「好ましい行動」を増やす)
 PECS®(絵カード交換式コミュニケーションシステム)
 感覚統合療法 (遊びを通して刺激を与え、感覚の偏りを整える)
 動作法(体の緊張を緩めることにより、自分の体の動きに気づいたり、動作をコントロールする力を育てること)
 その他 ()
 よくわからない

(副問) いいえと答えた方におたずねします。

今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んで✓をつけてください。

- 今後、専門的な手法を取り入れる予定である
 特に予定はない
 取り入れたいが、実際にどうすればよいか分からない

【E 医療機関での治療について伺います】

問 21 ご本人の障害特性に伴う症状を治療するために、医療機関を受診したことがありますか。

- ある ない

↓

(副問) あると答えた方におたずねします。

副問 1 現在通院または入院している (あるいは最後に受診した) 医療機関は次のうちどれにあたり
ますか。当てはまるもの1つに✓をつけてください。

- 精神科病院 (入院機能のある病院) 大学病院や総合病院などの神経科・精神科
 神経科・精神科診療所 (クリニック) 心療内科 小児神経科・その他の小児科
 総合療育センター (小児科または児童精神科)
 その他 ()

副問2 現在通院または入院している（あるいは最後に受診した）医療機関では、障害特性に伴う症状を治療するための投薬を受けていますか。当てはまるもの1つに✓をつけてください。

- 受けている
- 以前は受けていたが、今は投薬治療を中断している
- 以前は受けていたが、症状が良くなったため投薬は完了した
- 受けていない

問22 ご本人の障害特性に伴う症状を治療するために、精神科病院に入院したことがありますか。当てはまるもの1つに✓をつけてください。

- 現在入院中である
- 以前入院したことがあるが、現在は退院した
- これまで何度も入退院を繰り返している
- 入院したことはない

【F ご本人の状態が悪化して危機的な状況（パニック）になったときのことを伺います】

問23 過去1年間に、ご本人の状態が悪化して危機的な状況（パニック）になったことがありますか。

- ある ない

↓

(副問) あると答えた方におたずねします。

副問1 ご本人の状態が悪化したとき、具体的にどのような状態がより激しくなりましたか。

当てはまるものすべてに✓をつけてください。

- 大声や奇声をあげる、泣き叫ぶ
- 自分の顔を叩く、手足に噛みつく、壁に頭を打ち付けるなどの自傷行為
- 物を投げる、壁を蹴る、家具を倒す、ガラスを割るなどの破壊行動
- 周りの人や家族を叩く、噛みつく、物を投げつける、暴言を言うなどの他害行為
- 激しく動き回り、じっとできなくなる（多動）
- 問いかけに反応せず、体も動かなくなるなど行動の停止や同じ動作の反復
- 昼夜が逆転して眠らない
- 食べられないものを口に入れたりするなどの食に関する行動
- 便をこねたり、投げたりするなどの排尿排便行動
- その他()

副問2 なぜそのような状態になったか、理由はわかりますか

- わかる わからない

↓

副問2-1 わかると答えた方におたずねします

おもな理由は何ですか。該当するものを重要なものから3つまで選んで✓をつけてください。

- 急な予定の変更や、予期しない出来事が起きた
- 自分の言いたいことがうまく伝わらなかった
- 自分の要求が通らなかった
- 相手の行動が、自分が期待（予想）したものではなかった
- 相手の言うことや指示がよくわからず混乱した
- 温度や天候、物音、痛み、空腹、体調不良などの不快な感覚があった
- 苦手なことを頑張ったために疲れがたまっていた
- 過去の嫌な体験を急に思い出した
- その他 ()

副問3 ご本人の危機的な状況（パニック）は、どのようにして収まりましたか。

該当するものを3つまで選んで✓をつけてください。

- 本人を静かな別の部屋に連れて行き、落ち着くのを待った
- 家族が本人から距離を取り、落ち着くまで待った
- 本人が落ち着くためのツール（好きな物など）を渡した
- 本人の苦手な音などの刺激を止めた
- 頓服薬を服用した
- やむを得ず本人の要求を受け入れた
- 安全のため、やむを得ず家族が本人の身体を抑えて落ち着くのを待った
- 安全のため、やむを得ず警察に通報して介入あるいは拘束させた
- 精神科病院に搬送し緊急入院させた
- 障害者入所施設やグループホームに緊急で短期入所させた
- その他 ()

副問4 ご本人の状態が悪化して危機的な状況（パニック）になったとき、必要な支援は何だと思えますか。当てはまるものを3つまで選んで✓をつけてください。

- 精神保健・医療・福祉・教育などの専門職が、訪問して本人に働きかけてくれること
- すぐに入院または入所できるように調整してくれること
- どのように対応したらよいか、24 時間体制で相談に乗ってくれること
- 専門職が本人や家族と同席し、一緒に対応を考えてくれること
- 専門職がパニックの原因やその背景について分析し、家族へ対処法を伝えること
- その他（)

【G ご本人の住まいと暮らし方について伺います。】

問24 あなたは現在、ご本人にどこで、どのような暮らし方をしてほしいと考えていますか。一つだけ選んで✓をつけてください。

【現在】

- 今の住まいで家族との同居を続ける
- ヘルパーなどの見守り・支援のもと、アパートなどで一人暮らしをする
- グループホームに入居する
- 施設に入所する
- どうしたらよいかわからない
- その他（)

問25 あなたは将来、ご本人にどこで、どのような暮らし方をしてほしいと考えていますか。5年後、10年後、20年後について、それぞれ一つずつ選んで✓をつけてください。

【5年後】

- 今の住まいで家族との同居を続ける
- ヘルパーなどの見守り・支援のもと、アパートなどで一人暮らしをする
- グループホームに入居する
- 施設に入所する
- どうしたらよいかわからない
- その他（)

【10年後】

- 今の住まいで家族との同居を続ける
- ヘルパーなどの見守り・支援のもと、アパートなどで一人暮らしをする
- グループホームに入居する
- 施設に入所する
- どうしたらよいかわからない
- その他 ()

【20年後】

- 今の住まいで家族との同居を続ける
- ヘルパーなどの見守り・支援のもと、アパートなどで一人暮らしをする
- グループホームに入居する
- 施設に入所する
- どうしたらよいかわからない
- その他 ()

【最後に発達障害者支援に関するご意見・ご要望などがあれば、ご自由にお書きください】

以上で終わりです。長い時間、ご協力ありがとうございました。